

## 第6学年 算 数

### 第6学年の学習到達目標

- (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。
- (3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深める。
- (4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにするとともに、それらを用いて式に表したり、資料のちらばりを調べ統計的に考察したりできるようにする。

### 第6学年の主な学習内容

| 学期 | 単元名      | 学習のねらい  | 学習内容   |
|----|----------|---|--|
| 前期 | 円の面積     | ●円の面積を求めることができる。<br>●複合図形の面積を求めることができる。                     | ○円の面積の求め方<br>○複合図形の求め方                             |
|    | 文字と式     | ●□、○などの記号のかわりに、文字xとyを用いて立式したり、文字a,bなどを用いて、数量の関係を式に表すことができる。 | ○xとyを使った式の立て方<br>○文字を用いることのよさ<br>○数量の関係を文字を用いて式に表す |
|    | 分数のかけ算   | ●(分数)×(分数)の計算の意味や仕方を考え、計算できるようになる。                          | ○(分数)×(分数)の計算の意味の理解と計算                             |
|    | 分数のわり算   | ●(分数)÷(分数)の計算の意味や仕方を考え、計算できるようになる。                          | ○(分数)÷(分数)の計算の意味の理解と計算                             |
|    | 対称な形     | ●線対称・点対称の意味を知り、その性質について考えることができる。                           | ○線対称の意味の理解と作図<br>○点対称の意味の理解と作図                     |
|    | 比と比の値    | ●比と比の値の意味や表し方などを理解し、それらを使うことができるようにする。                      | ○比と比の値の意味の理解と表し方<br>○等しい比の意味と等しい比をつくる              |
|    | 拡大図と縮図   | ●拡大図・縮図の意味や性質がわかる。<br>●縮図を利用して、直接はかれないところの長さを求めることができる。     | ○拡大図・縮図の意味の理解と作図<br>○縮図の利用                         |
|    | 速さ       | ●速さの意味を知り、求めることができる。<br>●速さと時間と道のりの関係を理解する。                 | ○速さの求め方<br>○時速・分速・秒速の意味の理解<br>○速さと時間と道のりの関係        |
| 後期 | 角柱と円柱の体積 | ●角柱と円柱の体積の求め方を理解する。   | ○角柱の体積の求め方<br>○円柱の体積の求め方                           |
|    | およその面積   | ●不定形のもののおよその面積を求めることができる。                                   | ○不定形な形の面積を基本図形にあてはめて、およその面積を求める                    |
|    | 比例と反比例   | ●伴って変わる2つの数量について、それらの関係を考察する能力を伸ばす。                         | ○比例・反比例の意味・性質の理解<br>○2つの数量の関係を表やグラフに表し、関係を読み取る     |
|    | 資料の調べ方   | ●平均とちらばりの意味を理解する。<br>●柱状グラフは、ちらばりの様子を見るのに便利であることに気づく。       | ○平均の意味を知り、平均を求めて比べる<br>○ちらばりを柱状グラフに表す              |
|    | 場合の数     | ●落ちや重なりがないように、順序や組み合わせを考えることができる。                           | ○並べ方の意味の理解と活用<br>○組み合わせ方の意味の理解と活用                  |

|          |   |   |
|----------|---|---|
| 量の単位のしくみ | ●長さ、面積、体積、重さの単位とその仕組み、意味がわかる。<br>●メートル法の仕組みが十進法だとわか | ○量の単位の関係<br>○メートル法の仕組み<br>○長さ、面積、体積、重さの単位 |
| 算数のまとめ   | ●既習した主な内容について、確実に理解し、的確に能率よく用いることができる。              | ○「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」に関する基本事項           |

### 評価の観点・方法

|  |   |
|--|---|
| <p><b>(1) 評価の観点</b></p> <p><b>【算数への関心・意欲・態度】</b><br/>数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気づき、進んで活用しようとしている。</p> <p><b>【数学的な考え方】</b><br/>算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身につけ、論理的に考えたり、発展的・総合的に考えたりする。</p> <p><b>【数量や図形についての技能】</b><br/>分数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、立体図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりする。</p> <p><b>【数量や図形についての知識・理解】</b><br/>数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、体積の求め方、基本的な立体図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。</p> | <p><b>(2) 評価の方法</b></p> <p>① 知識・理解・技能だけでなく、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力などの観点も大切にしていきます。</p> <p>② ペーパーテストだけでなく、日常の学習の様子、発表、課題への取り組み状況、ノートなど、様々な方法により多面的に評価します。</p> <p>③ 学習途中に現れる児童の思いや願いやその都度評価し、指導に生かします。</p> <p>④ 児童自らが、自分自身の学習の仕方や理解の程度などを、自己評価や相互評価したのもも参考にします。</p> |
|--|---|

### 特色ある学習方法

|  |
|--|
| <p>(1) 基礎・基本の定着</p> <p>① 前学年までの内容も継続して指導し、理解と定着を図るようにします。</p> <p>② 計算や測定などの基礎的スキルについては、その習熟や維持を図るため反復練習をします。</p> <p>(2) 算数的活動を積極的に取り入れる。</p> <p>数量や図形についての意味を理解し、論理的な思考力や直感力、問題解決能力を育てるために、生活との関連を考慮しながら、作業的・体験的活動ができる場面を設定するよう工夫します。また、ゲームなどの要素を取り入れ、楽しく練習ができるような場を設定していきます。</p> <p>(3) 学習形態の工夫</p> <p>一人一人の学習状況を把握し、きめ細かい指導をしたり、自分に合った課題を選択して学習に取り組んだりできるように、少人数指導やティームティーチングによる指導も取り入れます。</p> |
|--|

### 使用教材等

○ 教科書「新しい算数 6年」(東京書籍)

○ 計算ドリル

### 留意事項

|   |
|---|
| <p>(1) ノートについて</p> <p>ノートは、自分が何を考え、どうやって解決に行き着いたのか記録する大切なものです。工夫したノート作りに取り組みます。</p> <p>(2) 家庭学習・用具の準備を大切に</p> <p>毎時間の復習は、確かな理解につながります。学習した内容の定着を図るため、計算ドリルやプリントなどの課題を出します。自分の間違いに気づき、その原因を明らかにした上で確実に直していくなど、間違いから学ぶ姿勢も大切です。また、ものさし、三角定規、分度器、コンパスなどの用具をきちんと用意し、必要ときはいつでも使えるようにしておくことが必要です。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるために</p> <p>算数で学習したことが、生活の中で直面した問題の解決に生かされることにより、算数のよさを実感することができます。見積もりや割合など、日常の事象を数理的にとらえたり、身近な事柄の中に含まれる数・量・図形等の要素や数学的な考えに着目したりできるよう、ご協力をお願いします。</p> |
|---|